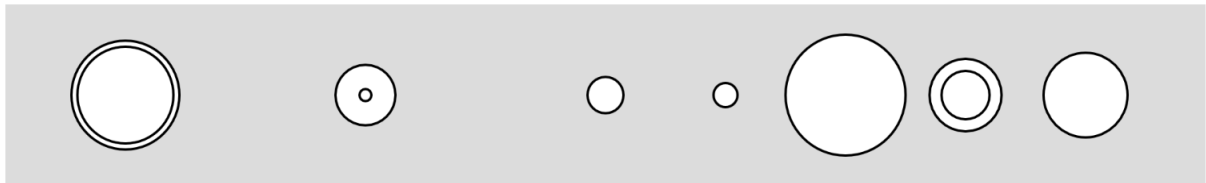


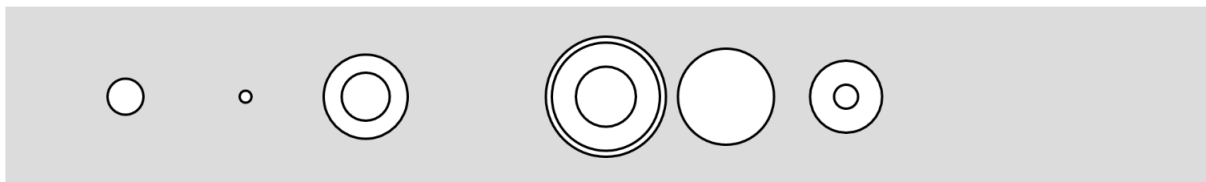
## 第7週 課題

下図のように円が並んだ図を描画しなさい。仕様を以下に示す。

- キャンバスサイズは1000×150とする
- 描画する円の数10個とする
- 円の直径は10～100まで10刻みずつ(10、20、...、90、100)とする
- 円は、x座標が100～900まで100刻みの位置(9スロット)のいずれかにランダムに描画する(スロットの重複あり)



コードを実行する度に円の位置が変わる



以下の手順に従ってプログラムを完成させるとよい。

1. 空の配列xsを用意する
2. 配列xsに1～9の整数の乱数を10個追加する(円を描く位置を乱数で決める)
3. 配列xsの各要素(1～9の整数)が示すスロットに、直径が大きい順に円を描画する

ヒント1:「random(1, N)」は1～N未満の小数の乱数を発生する。

これを1～Nの整数の乱数にするには、Nに1を足した上で、小数点以下を切り捨てればよい(具体的にはブログを参照のこと)。

ヒント2: 直径が大きい順に円を描画するには、円を描画するためのfor文のカウンタ変数を利用する。例えば、カウンタ変数 i が 0～3 まで変化するとき「3 - i」の値は 3 → 2 → 1 → 0 と変化する。この変化を円の直径の値に利用すればよい。